



木下志き子議員

防災対策

防災資機材の配備計画

18年度は7地区の自治会に配備

質問 山田湾の津波のシミュレーションを見て、海水の高低、速さ、それによって起こる2次災害の恐ろしい映像まで見せられれば、相当の参考になるものと思う。被害を最小限に食い止めるためにも、若者たちの防災対策訓練は男女問わず参加すべき活動のうちのひとつであると思う。

地域防災活動力を充実するため自治会などへ配備される防災資機材の内容は。また、地震津波対策町民懇談会の開催状況は。

沼崎町長 防災資機材の配備は、平成18年度は7地

区の自治会などに配備の計画で既に5地区に配備済み。2地区については今年度中に配備の予定である。防災資機材の内訳は地区の希望により多少の違いはあるが、ヘルメット、救急箱、腕章、リヤカー、担架、ハンド型メガホンなどである。

地震津波対策の町民懇談会は、平成17年5月に町内9カ所で開催し、その後集まりの少ない地区では自治会主催の懇談会も開催した。平成18年度は山田南実行委員会で開催した1回だけである。今後も防災対策強化に努める。

町の考えを聞く



外国語指導助手エレンさんによる英語の授業の様子(豊間根小学校)

教育行政

英語実践ガイドの活用方法は

英語活動時間に使用する

質問 各学校の英語活動の充実を図るため作成される「英語活動実践ガイド」の活用方法は。

教育長 平成18年度から19年度の2年間で作成する。各小中学校から1人を

英語活動実践ガイド集の作成委員とし、作成に当たっている。使用については、平成20年度より小学校の英語活動の時間に使用するもので、子供達一人一人に配布されるものではない。

質問 語学は国と国との経済、文化、医学、スポーツなど未来に開かれなければならないものだ。しかし、日本語は最近特に乱れていると言われている。正しい日本語が話されてこそ、外国語に慣れ親しませることが出来るものと考えらるがどうか。

教育長 しっかりとした日本語が基礎・基本になつてこそ、外国語が指導された意味が深くなるものと思う。